

授業科目名	DTM 入門 A, C, D, F	担当形態	演習		
		開講学期	春・秋		
担当教員	石川 泰昭	単位	2	年次	1

＝授業のテーマ及び到達目標＝

コンピュータを用いた楽譜制作の基礎を習得します。自ら作曲するという事を通して、楽譜の書き方を学びます。

＝履修の条件と学習の方法＝

コンピュータ教室は席数に限りがあります。履修希望者が多数の場合は、初回授業時に履修者を確定するので、必ず出席すること。席数が埋まってしまった場合は、2回目から来ても、履修は認めません。利用者 ID は初回から必要です。

＝授業の概要＝

楽譜浄書ソフトウェア sibelius の操作を実習します。

＝授業計画＝

- 1 回 ガイダンス：シラバス（講義の目標や内容）の確認。sibelius の概観
- 2 回 sibelius：ファイルの作成、保存、マウスを用いた音符や休符の入力
- 3 回 sibelius：MIDI キーボードを用いた音符入力
- 4 回 sibelius：強弱記号やクレッシェンドのつけ方
- 5 回 sibelius：スラー、音符のコピー、アルペジオ、3 連符入力
- 6 回 sibelius：歌詞、声部の分け方、リハーサル記号、臨時記号
- 7 回 sibelius：コードネーム①
- 8 回 sibelius：コードネーム②
- 9 回 sibelius：パート譜作成、レイアウト①
- 10 回 sibelius：パート譜作成、レイアウト②
- 11 回 sibelius：パート譜作成、レイアウト③
- 12 回 sibelius：作品制作①
- 13 回 sibelius：作品制作②
- 14 回 sibelius：作品制作③
- 15 回 sibelius：作品制作④

＝テキスト（必携）＝

なし

=参考書・参考資料（必携）=

なし

=成績評価の方法と評価の基準=

授業中の実習を通して制作した提出作品、出席状況、受講態度にて成績評価を行います。
欠席4回まで、遅刻2回で欠席1回にカウント

=その他=